

『自ら学び 共に高め合う 未来への展望を開く子どもの育成』をめざして

小郡市立小郡中学校のホームページをご覧ください、誠にありがとうございます。

本校に着任して二年目になります。山本 拓と申します。よろしくお願いいたします。



校長 山本 拓

本校は、昭和55年に開校し、本年で47年目を迎えます。本年度は生徒数368名、学級数は特別支援学級の5学級を含め、15学級の学級編成となっております。

校訓に「自主」「創造」「誠実」という三つの言葉を掲げ、創立以来、ずっと大切に受け継がれてきました。

「自主」… 他人の指図ではなく、自分で判断し、行動する。

「創造」… 自分自身で工夫して新しく作り出す。

「誠実」… 偽りがなく、真心を持って接する。

この校訓の心や姿勢が学校教育目標である「自ら学び 共に高め合う 心豊かでたくましい生徒の育成」につながると信じて、全職員で教育活動を進めていきます。

昨年度一年間で、本校に必要なだと感じているのが、「Resilience (レジリエンス)」と「Agency(エージェンシー)」の二つの力です。

「Resilience (レジリエンス)」とは、困難や失敗に直面したときに、そこから立ち直り、前を向いて進もうとする力のことです。学校生活の中でも、思うようにいかないことや、人との関わりの中で悩むことは少なくありません。そのような経験をとおして「もう一度やってみよう」「次はやり方を工夫してみよう」などと考えられる力を育てていく事が重要です。

一方「Agency(エージェンシー)」とは、自分で考え、選び、行動し、よりよい方向へと働きかけていこうとする力です。誰かに言われたからではなく、「自分はどうしたいのか」「どうすればよくなるのか」を考え、仲間と行動する姿は、これからの社会において欠かせない力です。

これからの学校は、知識を身につけるだけでなく、こうした力を育む場でなければなりません。本校では、授業や学校行事、日々の生活の中で、子どもたちが自ら考え、挑戦し、時には失敗しながらも、再び立ち上がる経験を大切にしていきたいと考えています。

子どもたち一人一人が「自分には乗り越える力がある」「自分の行動で周りをよりよくできる」と実感できるよう、ご家庭や地域も一緒になって支えていくことが重要です。どうぞ、本校の教育活動に対し、あたたかなご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。